

問 1 0 敬老祝賀事業に関してご提案等ご自由に記入してください。

<p>周りの高齢者の人たちは、敬老会に参加をしてない人が多い。理由は普段から地域の人と密に交流してないから会に行くのが億劫とか。参加をしやすい感じがあれば良いと思うが、具体的に提案をできない。敬老の記念の品も、地域によって様々でタオルは喜んでたりお菓子だとガックリしていたり。鳥取市の括りで統一したら良いのではと思う</p>
<p>鳥取市で行われているかは、分かりませんが、県外の親戚の家では、市が表彰状を渡したり、写真を撮ったりしてくれました。それを見るたびに、嬉しそうに話をしてくれる祖父、祖母を見て幸せな気持ちになりました。もし鳥取市で行われていなければ、良い思い出にもなるのではと思います。</p>
<p>健康で長寿であることはめでたいし、ましてや夫婦でそうあることは稀だと思います。地域でお祝いする伝統は続けて欲しいです。</p>
<p>まだ自分がそのような年齢ではないですが、毎年必ず自治会の回覧で案内の知らせがきて、目を通しています。このような事業が地域で、きちんと行われているということは誇らしい事だと思います。今回のアンケートで回答できた事もそのおかげかと思います。</p>
<p>婚姻届提出日、当日の新聞配布など。</p>
<p>まだ経験はないが、是非お祝いしようと思います。</p>
<p>いみがないあ。</p>
<p>今年地域の敬老会を見学する機会があったが、汗が滝のように流れる小学校の体育館で何時間も行われていた。予算のこともあると思うが、空調が整った大きめの会場で色々な地域が一括して行うなどした方がよいと思う。</p>
<p>敬老に関しては、当該年齢を迎えれば祝われるので予算がゆるせば継続したら良いと思いますが、金婚・ダイヤモンド婚に関しては個人的なことなので市を挙げて祝うものなのかは疑問です。離婚しても仲の良い元夫婦がいたり、仲は悪いけれど経済的な事情で婚姻を解消できない夫婦がいたり、一概に 50 年、60 年の婚姻関係をもって祝い事とはしにくいケースもあるのではないかと思います。</p>
<p>高齢化が進み、地域の活気が失われないう、高齢者の方々のためのイベントを用意してあげてほしいと思う</p>
<p>コロナ政策が大分緩和されつつあった時期ですが、市のダイヤモンド婚の会が中止され、二年前ダイヤモンド婚だった両親は、非常につながりして、残念がっていました。公民館で集まってお食事の敬老会も中止されたままです。市から頂くお祝いの品ですが、毎年把握しているわけではありませんが、5 cm 四方位の堅いカステラと使い道の無いような、ミニミニハンカチには、市の敬老の意識の低さに驚きました。</p>
<p>金婚ダイヤモンド婚の夫婦両者健康に年齢が到達できることは喜ばしいが健康上や年齢上で到達難しい面もある。敬老祝賀と一本化してはどうか考える。</p>
<p>本人の了解の上で報道することはよいと思う。個人の嗜好も多様化しているので、記念品は商品券か選べるギフトのようなものの方が喜ばれると思う。</p>
<p>母が丁度今 75 歳になって来年は喜寿のお祝いで同窓会等自分たちで計画して集まる機会が多いらしく、敬老と言われると戸惑うらしいです。80 歳以上からでもいいのではと思います。</p>
<p>コロナで変わったが、今の形がいいと思う。</p>
<p>さまざまな節目に、市がお祝いの品を贈呈などしていることを知りませんでした。市からのそのようなお知らせがあれば、お祝いをする機会になると思うので、これからも続けて欲しいです。</p>

<p>敬老という言葉は現役並に働いている方には抵抗があると思います。75歳以上が敬老に当たるかは、その時代の当事者に聞かしくないとと思いますが、名前を変えるのもありかなと思います</p>
<p>長く続いた夫婦なので お祝いすることはいいことですね!!</p>
<p>特になし</p>
<p>行事は大事なことで楽しみにされてる方もいると思う。が、地域役員さんの準備など負担が多いのも現状だと思う。もう少し簡素化しても良いのでは…</p>
<p>ご老人が増えてきたので、財政のこともあるので、金婚ダイヤモンド婚の事業のほうは年齢をあげてもいいかも…</p>
<p>今まで同様に写真を送ると嬉しいと思う</p>
<p>祝賀会がある事を若い年代にも知ってもらい、幼稚園や保育園、小中高生のお祝い訪問みたいな行事があったらいいと思います。また祝賀会がある事を知らなかった者として、内容を含め、もっと広報を増やして欲しいと思いました。</p>
<p>とっても素敵な事業だと思います。ですが鳥取市が実施されていることを恥ずかしながら知りませんでした。広報誌、新聞だけでなく、LINEやホームページ等でも周知したら良いと思います。(されていたらすみません。)</p>
<p>これまでの人生の振り返りこれからの人生の意欲向上にあるとモチベーションが上がると思います</p>
<p>年配方が、参加するためには家族やその他の人の送迎が必要な場合が多く、家族の都合で、送迎が出来ないために、参加を諦める事もあります。地域単位の集まりであっても、送迎付きになると、参加しやすい会になると思います。</p>
<p>長寿の御夫婦が増えてきて欲しいので、プラチナ婚等もあったら良いと思います。</p>
<p>祖父母など、身内が長生きをしなかったので、そのような祝い事をしたことがないが、テレビなどで見るとこちらも幸せな気持ちになる。以前テレビ拝見した、市長さんが記念品を手渡したりしている様子は、お年寄りの方が嬉しそうでとても良い取り組みだと思う。</p>
<p>結婚に関するお祝いは、既婚者にしか適用されず、不公平さはないのでしょうか？離婚、未婚、死別、内縁など、様々な人たちがいるとおもうのですが、日本の婚姻制度にあった人のみを祝うことには、何か特別な意味があるのでしょうか？</p>
<p>広く市民への周知が必要ではないかと思う。</p>
<p>個別の敬老祝賀事業は、賛同するが、金婚、ダイヤモンド婚祝賀事業は、夫婦揃って迎えるものであり、期せずして配偶者が病死した者にとっては悔しさ、淋しさを感じる事業でしかない。配偶者が病死したのは、罪なのか？これを事業とすることには賛成できない。</p>
<p>敬老会事業は続けてほしいです。参加した人はとても楽しそうでした。金婚ダイヤモンド婚のお祝いは市がしなくてもいいと思います。誰もが結婚しているとは限りません。</p>
<p>家族の幸せを形成し、維持していく楽しみを提供するいい機会だと思います。</p>
<p>自分自身が金婚・ダイヤモンド婚を目指しているので、続けていただきたい事業ではある。</p>
<p>両方廃止。または、他の属性の人も祝うことを含める。</p>
<p>事業として捉える側からしてこのようなことをお考えなのかということを知ることができた。イベントとするか本気でお祝いとするか等必要性を検討する流れなんですわね。</p>
<p>自分の親が結婚何年目かははっきりわからないので、祝賀行事に対象夫婦だけじゃなくて付き添いに家族も一緒に招待すれば家族でもお祝いしようという気になるのではないかと家族で集まる機会に繋がると思います</p>

昨今、特にコロナなどの影響で祝い事など少なくなったと感じます。昔からある日本の行事ごとは出来る限り伝承すべきだと思えます。また高齢化社会における家族間、地域の繋がりを強めることとなる行事の1つです。良き事は広げるべき。鳥取市で生きてて良かったと思う事を増やして欲しい。

事業を通して、みんなで祝う機会は、してもらう側も、する側も、さまざまな効果をもたらしていると思えます。共通しているのは、してもらう側も、する側も、笑顔になり幸せな気持ちになる事。とても、すてきな事業だと思えます。

敬老の年齢については、今のままでいいと思う。まだまだ元気な人が、ついに私も、、と残念そうに？いうけど、それは仕方のないことだからそのままでいいと思う。

現状の敬老祝賀事業等にかかる予算を減らしてほしいとまでは思わないが、記念品の金額を上げる等、対象人数増加以上のペースで予算を増やして欲しくはない。そうするくらいならば、他の世代（特に低所得世帯や若年少数世帯等）への経済的支援に充てて欲しい。また、記念品が欲しい人もいれば欲しくない人も思うので、全対象者に一律に同じ記念品を配るのではなく、対象見込み者へ予め案内を送付し、従来の記念品または他の品（鳥取県域で使えるお買い物クーポン・特産品詰め合わせなど）で選択肢を設けた上で、その受け取りを希望するかどうかをお尋ねしておく、不要な方への記念品にかかる金額を節約でき、対象者の方々のニーズにも合わせる事ができるのではないかと思う。（もう実施していたらすみません）

家族内では何もしていませんでしたが、亡くなった義父母の様子を思い出すと、地域から何らかのお祝いがあると地域所属意識と自己肯定感を高められて良いと思えます。